

岡崎市民病院

病院長名	小林 靖
所在地	〒444-8553 岡崎市高隆寺町字五所合 3 番地 1
交通案内	名鉄バス：「市民病院」下車； 「名鉄・東岡崎駅」・「愛知環状鉄道・大門駅」より 25 分、 「名鉄・美合駅」より 12 分、「JR・岡崎駅」より 30 分



□ 病院の特徴

岡崎市民病院は、救命センター、地域医療支援病院、地域周産期母子医療センター、災害拠点病院、がん拠点病院の施設認定を受けている三次救急病院です。小児科は、日本小児科学会研究支援施設、日本小児神経学会専門医研修認定施設、日本小児循環器学会研修施設群、日本周産期・新生児学会研修指定施設の認定施設になっています。各専門領域に経験豊富な専門医を有し、さらに、一次から三次までの救急患者を受け入れる体制も有しているため、小児科医として欠くことのできない救急疾患の対応、急性期疾患の管理も研修できる施設です。

□ 研修プログラムの特徴

岡崎市民病院小児科専門研修プログラムでは、「小児医療の水準向上・進歩発展を図り、小児の健康増および福祉の充実に寄与する優れた小児科専門を育成する」ことを目的とし、一定の専門領域に偏ることなく、幅広く研修します。

症例をある一時点で経験するというだけでなく、主担当医として、入院から退院（初診・入院～退院・通院）までの可能な範囲で、経時的に診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践します。そして、個々の患者に最適な医療を提供する計画を立て実行する能力の修得をもって目標への到達とします。

【研修スケジュール】

専門研修 1 年目は岡崎市民病院一般病棟・外来で小児救急、感染性疾患・内分泌代謝疾患・血液腫瘍疾患・アレルギー疾患・呼吸器疾患・消化器疾患・腎泌尿器疾患・循環器疾患・神経疾患などを担当医として研修し、周産期センター新生児部門で新生児疾患・先天異常疾患を各 6 ヶ月研修します。

2 年目以降も同様に 3 ヶ月 1 クールとしてそれぞれ担当医として研修しますが、3 年目は各コースの希望に応じて、発達障害や障がい者医療を岡崎こども発達センターと三河青い鳥医療療育センターで学ぶ研修、あいち小児保健総合センターでの循環器・PICU の 3 ヶ月連続研修、または内分泌などの週 1 回 1 年間の専門外来見学を中心とした研修、名古屋大学小児科での 6 ヶ月間の総合研修などをします。

3 年間を通じ、外来での乳児健康診査と予防接種などの小児保健・社会医学の研修と救急疾患の対応を担当医として研修します。

自治医大出身者は個別に愛知県の指定する関連施設で 2 年間の地域研修とその間の週 1 回の当院での外来、病棟、ER の研修を行い、3 年目以降は当院で NICU を含む総合研修をします。

□ 主な連携施設

連携施設は、あいち小児保健医療総合センター、名古屋大学医学部附属病院です。

関連施設は、岡崎こども発達センター、三河青い鳥医療療育センターの他、愛知県の指定する自治医大出身者のための地域医療の研修施設があります。

□ メッセージ

指導医（小児科統括部長 林 誠司）

小児科統括部長の林誠司です。西三河の 3 次救急をになう中核病院として、多数の症例があり、地域周産期医療センターも有するため小児科医として充実した研修が行えると考えています。指導医の専門分野としては、循環器、神経、アレルギー、感染症、新生児と多岐にわたっています。これまでに多数の専攻医の先生たちが巣立っていき、小児科の中でもそれぞれのサブスペシャリティをもって活躍されています。

また、育児支援にも力を入れており、男性医師も女性医師も仕事と家庭を両立できるような雰囲気がありますので、働きやすい職場だと思います。

私たちと一緒に充実した小児科専攻医生活を送りましょう。



小児科スタッフ一同

□ 募集要項

・採用予定人数	3 人
・給与/月額	383,144 円～（基本給・地域手当・初任給調整手当） その他各種手当、実績給あり
・当直回数/月	5-6 回/月
・当直料/回	35,000 円~/回
・その他	
・応募連絡先	担当者 総務課人事管理係 電話番号 0564-66-7012 Eメール hospital.jinji@city.okazaki.lg.jp